

八ヶ岳：赤岳 天狗尾根

- ◆日程 2024年2月23日(金)～25日(日)
◆メンバー L：TY、SDK、OT、OB

2月の3連休を利用して、八ヶ岳の天狗尾根にチャレンジした。私にとっては初の冬季バリエーションルートで、緊張する場面も多かったが、非常に充実した山行となった。

2月23日(金) 天候：雪のち曇り

駐車場に到着すると雪であたりは真っ白だった。装備を整え、出合小屋までのアプローチを歩く。1時間ほど歩くと林道から、河川敷へ入り、堰を越えながら川を遡っていく。数か所なかなかハラハラする渡渉箇所があったので、危なそうなどころではSDさん・TYさんにストックをお借りしながら川を渡り、歩きを進めた。

12:40に出合小屋に到着、荷物を置いてまずは薪ストーブに取り掛かる。SDさんが着火剤を持ってきてくださっており、手持ちの5個全てをぶち込むとすなりと火がつき小屋内が暖かくなり、早々にお茶タイムとなった。

小屋には先客が1組、我々が到着した際にはテントを張って明日の偵察に出かけていたが、1時間ほどで戻ってきて一緒にストーブを囲んだ。17:00を過ぎた頃に10人の団体が到着。女性4人が小屋に入り、男性6人は外でテント。俄かには小屋が賑やかになった。翌日わかったことだが、同じ神奈川のみろく山岳会のチームで、我々と同じ天狗尾根→ツルネ東陵のコースを予定していた。夕食を済ませ、明日はうまくいけばそのまま下山を予定しているので早めにとようと、早々に眠りについた。

CT：美し森駐車場9:20 - 出合小屋12:40

2月24日(土) 天候：快晴

4:00過ぎ、まだ暗いうちに小屋を出発した。一面新雪に覆われていて、天狗尾根のとりつきまでは所々踏み抜きながら進んでいった。とりつきからは暫く急登が続いた。休憩をはさみながら黙々と高度を上げていく。徐々に周囲も明るくなっていき、木々の間から朝焼けが見える。昨日の雪が嘘のような良い天気だ。7:00頃には樹林帯を抜けると、左手に権現と下山するツルネの東陵が見えた。雪をまとめて美しい。

そこから30分ほど登ると蟹のハサミが見えてきた。いよいよ本番がスタートだ。カニのハサミは左から巻いて進み、尾根を上っていくと右手にフィックスロープが見えた。どうやらここをトラバースしていくようだ。フィックスまでの短いトラバースTYさんが進むが、足元があまり良くなく足がきまらないようで、ここでロープを出した。フィックスロープ自体も少し怪しい、とのSDさんの言葉で、フィックスが張ってある部分もロープを出して進んだ。最初SDさんがブレイしTYさん進み、フィックスでSDさん、OBが通過、最後OBがブレイしOTさんがロープを回収しながら渡った。途中、飛び出た岩稜のトラバースは中々スリリングで緊張した。トラバースを終えると、今度は急なルンゼだ。ここも念のためロープを出して順番に登った。この日に備えてメルカリでポチったダブルアックスがここで活躍。しっかりとピッケル・アイゼンを決めながら慎重に登る。ブレイ地点・待機地点もしっかりした足場ではなく、気を抜くと足を滑らせそうで気が抜けない。

ルンゼを上り切ると少し休めそうな場所があったので休憩を取った。日差しが暖かく、風もなく暖かい。眼下に広がる清里の町を眺めながら、しばし気を緩めることが出来た。

次に見える石峰を左から捲いて進んでいくと、核心の大天狗が見えてきた。荒々しい岩の様相がカッコいい。近づくとさらに迫力だ。大天狗は、直登ルートではなくトラバースルートを通る計画だが、近づいていくとトラバースのルートがどこなのか、分かりづらかった。目の前の岩壁を登るようにも思えるが、支点が見当たらずフリーで登るには中々厳しそうだ。事前にTYさんリサーチの写真と照らしあわせると、どうも岩壁を大きく下から捲くルートなのでは？ということになり、少し登りすぎてきてしまったのだろうか？と、ロープで懸垂しながら斜め下にトラバースし、岩を回り込んでハイマツの生える急登を上り、大天狗を越えた稜線に上がった。後からきたパーティーは、厳しいそう、と避けた岩壁を登ってきていて、どうも壁の途中にはハーケンもあり、登りきったところには支点もあり、こちらが正しいルートだったようだ。大天狗を越えてしまえば、小天狗を左から捲くルートはそこまで難しくなく、じきに穏やかな稜線となり、一般登山道に合流した。



この時点で14:00、赤岳山頂は全員もはや頭になく、下山ルートへ。今日中下山も難しそうだ。キレット小屋までの下りは一般登山道とはいえかなり急かつ足場の悪い下りで、慎重に降りて行った。ツルネまで登りかえすと、通ってきた天狗尾根が良く見えた。無事にここまでこれで灌漑深い。あとは降りるだけだと一安心。しかし、この後に畏がっていた。。。

一般登山道に出たあたりで、日帰りの2人組に追い付かれ先を譲り、彼らのトレースを辿るように下山していったのだが、分岐で降りる尾根を間違えてしまった。幸い、50mほど下ったところでトレースがなくなっていたため、おかしい、となりGPSを確認し気づくことが出来たが、この50mの上り返しが辛かった。そこからの下山は慎重に、時々GPSを確認しながら下山した。出合小屋についたのは18:00頃で、あたりはすっかり暗くなっていた。

CT：出合小屋4:20 - とりつき4:50 - カニのハサミ8:00 - 大天狗11:30 - 子天狗13:40 - 一般登山道合流14:00 - ツルネ15:50 - 出合小屋16:00

2月25(日) 天候：雪

出合小屋を出発する頃に雪が降りだし、雪の中の下山となった。心配していた渡渉は一昨日よりも少し水量が減っていた。9:00過ぎに駐車場に到着。冷えた体をお風呂で温めて帰路についた。

(記：OB)

CT： - 出合小屋6:40 - 美し森駐車場9:00